

平成21年度 第1回 函館市榎法華地域審議会会議録

開催日時	平成21年7月29日 水曜日 午後3時00分～4時56分
開催場所	函館市榎法華支所 2階 旧議場
内 容	<p>議題</p> <p>(1) 前回の意見等の集約結果と取り組み状況について</p> <p>(2) 平成20年度事業の実績報告について</p> <p>(3) 地域振興全般に関する意見交換について 東部営業所内(旧町村地区)の家庭用以外の水道料金の統一について 4地域の現状等について その他</p> <p>(4) その他</p>
出席委員	<p>木下恵徳会長, 五ノ井孝司副会長, 杉林千一委員, 岡山弘一委員, 加藤 勉委員, 川口邦昭委員, 亀沢正史委員, 竹田タイ委員, 増田真澄委員, 岡山石男委員 (計10名)</p> <p>・報道関係 北海道新聞社, 函館新聞社 (計2社)</p> <p>・傍聴者 (計0名)</p>
欠席委員	<p>小野忠義委員, 北村和彦委員, 越崎賢弥委員, 三ツ石洋一委員, 村田 朗委員 (計5名)</p>
事務局の出席者の職氏名	<p>三 輪 秀 悦 榎法華支所長</p> <p>小山内 克 典 榎法華支所地域振興課長</p> <p>嶋 村 秀 史 榎法華支所産業建設課長</p> <p>越 崎 重 平 榎法華支所市民福祉課長</p> <p>山 田 勝之進 榎法華支所地域振興課主査</p> <p>千 葉 ゆかり 榎法華教育事務所主査</p> <p>佐々木 亮 榎法華支所地域振興課主任主事</p> <p>沢 山 渡 榎法華支所地域振興課主任主事</p> <p>佐 藤 洋 一 企画部計画推進室長</p> <p>佐 藤 直 孝 企画部計画推進室地域振興課長</p> <p>進 藤 昭 彦 企画部計画推進室地域振興課主査</p> <p>小 玉 亮 企画部計画推進室地域振興課主事</p> <p>中 谷 宏 平 水道局管理部次長</p> <p>佐 野 肇 行 水道局事業部次長</p> <p>吉 岡 司 水道局管理部料金課長</p> <p>岩 船 秋 男 水道局事業部東部営業所長</p> <p>早 瀬 洋 水道局管理部料金課調定係長</p>
水道局については, 東部営業所内(旧町村地区)の家庭用以外の水道料金の統一についての説明のみ出席	

1 開 会（午後3時00分）	
山田主査	<p>本日はご多用のところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>開会にあたりまして、本審議会の会長よりご挨拶をいただきたく存じます。</p> <p>木下会長よろしくお願いいたします。</p>
2 会長あいさつ	
木下会長	<p>平成21年度、第1回の審議会の開会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>本日は、皆様方大変お忙しい中、盛漁期にもかかわらずご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>ご案内のとおり、本日の審議会の議題は、配付しております会議次第のとおり、前回の意見等の集約結果と取り組み状況、平成20年度事業の実績報告、地域振興全般に関する意見交換が主な内容となります。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、是非とも熱心なご審議・ご意見等をお願いいたします。</p> <p>簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
3 支所長あいさつ	
三輪支所長	<p>挨拶要点</p> <p>今年に入りまして第1回目の地域審議会開催にあたりましてご挨拶を申し上げます。</p> <p>7月に入りまして雨が多くて鬱陶しい天気が続いておりますが、委員の皆様方におかれましては、コンブ採りの時期にもなり、何かとお忙しい中、今日の審議会に出席いただきまことにありがとうございます。また、日頃から支所行政推進に対しまして、特段のご支援とご協力をいただいていることに厚くお礼を申し上げます。</p> <p>合併をしましておよそ5年になろうとしておりますけど、地域では地デジ対策を始めとしまして、新たな課題も出てきております。</p> <p>函館市では合併後の5年の間、各地域の振興策を進めることはもちろんですけど、住民サービスをはじめ各種制度の統一、町会連合会など各種団体の一体化を進めるなど、住民の一体感の醸成に力を入れることを図っております。</p> <p>最後になりますけども審議会の委員の皆様方は、合併した後の地域の住民の声を当然耳にしているでしょうし、また、地域の現状についてもそれぞれの思いがあることと思います。</p> <p>今日は、皆様のご意見を聞かせてくださいますようお願いを申し上げまして審議会開催にあつたての挨拶にかえさせていただきます。</p>

4 出席委員の報告，新委員の紹介

山田主査

それでは，ここで出席委員の報告をさせていただきます。
出席委員10名，欠席委員5名，過半数を超えておりますので，地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により，会議が成立していることをご報告いたします。
ここで，新たに委員になられた2名をご紹介します。
まず，故 大瀧委員に代わり5月21日付けで楸法華地区町会連合会から推薦をいただいた杉林千一委員でございます。
続きまして5月18日付けで退任されました，小市委員に代わり，6月15日付けで，えさん漁業協同組合から推薦をいただいた亀沢正史委員でございます。
杉林委員，亀沢委員には今後ともよろしくお願いたします。
それから本日の欠席委員は，小野委員，北村委員，越崎委員，村田委員，三ツ石委員この5人の方が本日，欠席となっております。
それでは，これからの進行につきましては，地域審議会の設置に関する規程第8条第2項の規定により会長が議長を務めることになっております。
木下会長よろしくお願いたします。

5 議題

(1)「前回の意見等の集約結果と取り組み状況について」

木下議長

5の議題1「前回の意見等の集約結果と取り組み状況について」事務局より報告させます。
質疑等についてすべての報告が終わってから一括受けたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

小山内課長

前回意見等の集約結果と取り組み状況について私の方からご報告をさせていただきます。
3月の地域審議会で増田委員から切断された小中学校の光通信回線の復活はできないものかというような意見がありました。
その関係部局と協議してまいりましたので，ご報告させていただきます。
光通信回線につきましては，合併前は1系統で運用されておりましたが合併後，支所と小中学校の2つの系統に区分されました。
その後，小中学校への接続サービスを行っていた事業者の撤退によりまして速度の遅い電話回線となったところでございます。
情報処理における市の基本的な考えでは，外部からの不正侵入を防止するという観点から市の職員のみシステムへの接続を認めるところでございます。
従いまして，小中学校は市の職員以外であるということからシステムへの接続は認めておらず，一つに統合して復活はできないということでございます。
以上でございます。

木下議長

ただ今の報告について何か質疑があればお願いたします。

	(質疑なし)
(2) 平成 2 0 年度事業の事業の実績報告について	
木下議長	次に議題 2 「平成 2 0 年度事業の実績報告について」事務局より説明させます。
事務局 (小山内課長ほか 3 名)	[資料 2 について説明する]
木下議長	これより質疑に入ります。 ただ今の報告について何か質疑があればお願いいたします。
岡山弘一委員	2 ページの先進視察の後継者問題，これについて小樽と札幌という説明ですけど，もう少し具体的に説明を願いたいと思います。
嶋村課長	農林水産部と漁協で行っているので詳しくは，つかんでおりませんが内容的には，2 月に小樽については，小樽漁連の販売，札幌につきましては，札幌漁連の総合食品と札幌漁連の中央事務所，これらの所を視察をしたと聞いております。 それで参加者につきましては，1 1 名そのうち榎法華地域からは 1 名参加をしていると聞いております。
岡山弘一委員	今後は，先進地視察で学んだことを浜で活かせる，実践できるような漁業や仕事を学ぶことができる視察先を検討してほしい。
佐藤室長	平成 2 0 年度につきましては，流通，販売という視点に立った研修を行ったものと考えております。 ただ，岡山委員おっしゃるとおり後継者の身になる例えば技術習得ですとか漁業の先進地で恵山，榎法華地域にも参考になる事例を探っ て調べますとか，総合的に今後の取り組みに役立てて参りたい。
木下議長	漁組の意見等も取り入れながらより効果のある事業にしてもらいたいと思います。よろしいですか。 ほかにございませんか。 (特になし)
(3) 地域振興全般に関する意見交換について 東部営業所内 (旧町村地区) の家庭用以外の水道料金の統一について	
木下議長	「地域振興全般に関する意見交換」についてでございますが 東部営業所内の家庭用以外の水道料金の統一について 4 地域の現状等について その他についてと，区切りをさせていただきますので，よろしくご協力をお願いいたします。

山田主査	<p>それでは、「旧町村地区の家庭用以外の水道料金の統一」について報告させていただきますが水道局より中谷管理部次長ほか4名が出席しておりますが、準備が整うまでお時間をいただきたいと存じます。</p> <p>(水道局 中谷管理部次長ほか4名着席)</p>
木下議長	<p>それでは、の「東部営業所内の家庭用以外の水道料金の統一について」事務局より説明させます。</p>
吉岡課長	<p>[資料3について説明する]</p>
木下議長	<p>事務局からの説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p>
増田委員	<p>ただ今、家庭用以外の水道料金の統一について説明がありましたが、経過を聞きますと、すでに合併協議会で取り決めされているとのことですが、現在、景気低迷のなか、平成22年度から一気に料金が値上げとなれば、民間においては、非常に苦しい会社経営になるのは間違いありません。この様な、大きな課題について、事前に会社などと協議を行って審議会に諮っていると思いますが、そこで水道局さんに要望したいことは、一気に値上げをしないでせめて3年から5年くらいの緩和措置を行うことができないものか、再度、検討していただきたいと思いますがいかがなものでしょうか。</p>
中谷次長	<p>ただ今、増田委員から5年間不均一の後、非常に景気の状態を勘案すると例えば、3年とかの経過期間を設けられないかとおたずねでございます。</p> <p>たしかに今にきて、非常に経済状況厳しさを増しております。</p> <p>その点については、私も理解をしておりますし、負担が増える事業所さんに慎重に対応していかなければならないとのことで、検討をしていきたいと考えております。</p> <p>ただ一方では、先ほどもご説明申し上げましたとおり、安くなる方もたくさんいらっしゃる、すごく安くなるということではありませんけど、数からいけば安くなる方が多いという状況も一つございます。</p> <p>それから私もこれまで5年間、水道事業ということで、こちらの4地区含めていろいろ施設の整備にも力を入れてきました。</p> <p>そのうえで、水道のサービスという点では、旧函館市内と同等のサービスができるように努めてきたところでありますし、これからもそうした整備に力を入れていきたいと考えております。</p> <p>そうした点で同じような均一のサービスをしていただくという点からも料金についても均一が望ましいのかなということ考えておりますけれども、増田委員さんおっしゃる景気の状態、そうした中でということですから、その点踏まえまして最終的な決断は、もう少し先になると思います。</p> <p>これから、いろんな事業所さんにも説明して理解を得られるように努めていきたいと思っておりますけれども、そうした点踏まえて検討させていただきます。以上でございます。</p>

木下議長	水道局さんをお願いしたいんですが例えば、一般漁業者が水道を使ったら上がるのか下がるのか、大口の水産加工場だったらどうなのかというのを具体的に言っていただくと我々としては、すんなり理解しやすいのですが出来ますか。
吉岡課長	<p>個別の事業所の名前は申し上げられませんが、温泉用では、平成20年度の決算ベースでいきますと1,770千円くらい負担が増え、ここは突出しており、これは非常に例外です。</p> <p>あと水産加工をお使いになっている工場等で、年間、椴法華地区でいくと一番増えるのが12万円程度でした。</p> <p>あとは年間6万円、5万円という順です。</p> <p>増える方で一番少ない方で9,780円という形で増えます。</p> <p>減る方は、だいたい年間少ない方で1万円、多い方でも3万円弱程度です。</p> <p>以上です。</p>
木下議長	<p>ありがとうございました。ご説明をいただきましたがご意見、質疑等ございませんか。</p> <p>(質疑等なし)</p> <p>それでは、水道局からの報告をいただきました、質疑も終了しましたので、中谷管理部次長ほか4名につきましてここで退席させていただきます。</p> <p>どうもご苦労様でございました。</p>
4 地域の現状等について	
木下議長	議題3の 4地域の現状等について事務局より説明させます。
佐藤課長	[資料4について説明する]
木下議長	<p>事務局からの説明が終わりましたので、ここで少し休憩を取ります。</p> <p>(16時15分、休憩)</p> <p>(16時20分、再開)</p>
木下議長	再開します。何か質疑・ご意見等あればお願いします。
杉林委員	<p>資料5ページを見ると椴法華では人口がどんどん減り、10年後の平成32年では、798人になると記載されております。</p> <p>椴法華では、現在でも漁業後継者が不足していると思いますが、今後、漁業従事者の減少や高齢化により、このままでは漁業が衰退してしまい、経済的にも地域へ与える影響は大きいと考えられます。</p> <p>28日の朝刊の一面に民主党がマニフェストで農漁業への所得補償をしようとする記事が載っておりましたが、漁業者への所得補償ができるようになれば、後継者や従事者が増えるのではないかと思います。</p>

<p>佐藤室長</p>	<p>市の漁業対策としてそのような政策ができないものか、お聞きします。</p> <p>農業だけじゃなくて林業もそして漁業も国策でやっていただければ、それに越したことはないと思っています。</p> <p>機会を捉えながら訴える場面がありましたら、訴えてまいりたいと考えております。</p> <p>それから杉林委員ご心配のとおりどんどん漁業就業者が高齢化するし、それから人数も減っております。</p> <p>それで市の政策では、2種類の後継者対策を講じておりますけれども今後、榎法華だけではなくて函館5単漁協の組合の代表の方々と忌憚のないご意見をいただきながら、どういう対策を講じていったらいいか考えてまいりたい。現時点では、具体的な打つ手を示すことは出来ませんが、前向きに検討してまいりたいと思います。</p>
<p>木下議長</p>	<p>よろしいですか。</p> <p>ほかに質疑等ございませんか。</p>
<p>竹田委員</p>	<p>今年の市政はこだて3月号に交通料金助成制度についての記事が載ってましたので、お聞きします。</p> <p>この制度は、合併時、当分の間は、旧函館市内のみで継続し4支所地域には適用されない、ということで、現在に至っております。</p> <p>榎法華地域では高齢者は、旧函館市内へ通院するなど、旧市内居住者に比べ料金負担が大変だと聞いております。</p> <p>住民サービス充実のため、是非、4地域にも交通料金助成を拡大できないものか、お尋ねいたします。</p>
<p>佐藤課長</p>	<p>ただ今、交通料金助成について高齢者70歳以上は、半額、そして身体障がい者は、無料という制度を適用できないかというご質問をいただきました。</p> <p>先の6月市議会定例会でも同様のご質問をいただいたところでございます。</p> <p>合併協議会におきましても制度内容が異なるものということで、今回、平成21年度から4地域統一した地域福祉バスと同様に交通料金助成についても、現行の区域で当分の間、継続するというところで進めてまいったところでございます。</p> <p>そして交通料金助成につきましては、現在、高齢化、旧函館市を含めまして高齢化が進行しておりまして助成費も多額になってございます。それで、今年、利用実態や高齢者がどのような形で何名くらい利用されているのか、旧函館市そして4地域も併せて、実態調査を行う予定でございます。</p> <p>その結果を踏まえまして、どの程度の財源負担が必要になるか検討しまして、4地域の方まで広げる広げない、そして交通料金助成についても枠をどのようにするのか様々な検討がされてくると思います。</p> <p>「4地域の現状等」の資料でお示ししたとおり、今後、高齢化が進展するに伴いまして地域の足というものが必要になってくるというこ</p>

<p>木下議長</p>	<p>とで、ご説明申し上げましたが、今後、既存の路線バスをどのようにしていくのか、コミュニティバスの検討をしていくのか、地域福祉バスをどのような形で用いていくのか、総合的に地域の住民の足という観点を考え検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解の程よろしく申し上げます。</p> <p>よろしいですか。 ほかに質疑等ございませんか。</p>
<p>増田委員</p>	<p>先ほど「前回の意見等の集約結果と取り組み状況」のなかで、小中学校は、市のセキュリティー上、システムへの接続はできないとの報告がありましたが、旧市内では小中学校は、当然のこのようにブロードバンドが使用できます。</p> <p>小中学生の子どもを持つ親の立場から言えば整備が進まない椴法華地域では、特に中学校においては、回線速度が遅いためインターネットを使った授業が受けられないことは、大変不安を持っています。</p> <p>漁業の後継者問題等、今後、ブロードバンドについては、椴法華の将来を担う子ども達にとって必要不可欠と考えております。</p> <p>そこでお聞きしますが、旧市内と教育格差が生じないように何らかの対策が必要ではないかと思うのですが、どのように考えているかお聞かせ願いたいと思います。</p>
<p>三輪支所長</p>	<p>3月の段階においても要望が出ており、椴法華支所としても、総務部にいろんな部分で訴えている現状がございます。</p> <p>また、学校からもそういう要望を受けております。</p> <p>インターネットを使った授業ができないという切実な問題を聞いておりますので、現実の問題、今すぐ接続はできないと報告しましたが、学校の状況、保護者の期待を含め、早く授業に使えるよう、教育格差が出ないように訴えていきたいと思っております。</p>
<p>木下議長</p>	<p>よろしいですか。 ほかに質疑等ございませんか。</p>
<p>亀沢委員</p>	<p>意見として聞いてください。</p> <p>1点目は、学校の問題ですがこれだけ生徒数が少なくなりましたので、小学校、中学校、校舎が別になっておりますけれど、小中一貫教育を進める意味でもこれを一つにできないか検討していただきたい。</p> <p>それから下水道の問題ですが現在、戸井まで下水道が整備されていますが、椴法華まで下水道がくるとは、到底思えません。</p> <p>そこで合併処理浄化槽が必要になるとは思いますが、高齢化が進み、収入も減っているなか、個人単位での浄化槽設置は進まないと思います。従いまして、市で10世帯、20世帯まとめた形で大きな浄化槽を入れて、使用料を払うといった施策を是非、進めてほしいという気がします。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>

木下議長	答弁は？
亀沢委員	いりません，次回に向けて検討してください。
木下議長	ほかに何かございませんか。
川口委員	<p>当地域は，子どもが高校に進学すると家族揃って，転出してしまい，さらに漁業従事もできない状況になる。</p> <p>唯一の公共交通機関であるバスにおいて，恵山地域から出る函館バスは，旧市内の高校の始業時間に間に合うが，当地域からの恵山地域に出発するバスの時刻では，間に合わない。</p> <p>そこで，高校進学者がここから通学できるよう，当地域から恵山地域までの始発バスの時刻を変更できないか私は，提案します。</p>
木下議長	<p>函バスや函館市の担当への要望ですね。</p> <p>答弁は？</p>
川口委員	いりません。
木下議長	他にございませんか。 (特になし)
その他	
木下議長	<p>次に，議題3の その他でございます。</p> <p>椴法華地域の振興に関する意見や感想，住民サービス関連など疑問に感じていることや不明な点等ございましたら，ご意見をちょうだいいたします。</p>
岡山弘一委員	<p>水産業の振興について一つお尋ねいたします。</p> <p>ウニの放流事業に対する，補助について今後，続けていくのか，途中で打ちきりになるのかお伺いしたい。</p>
嶋村課長	<p>ウニの種苗放流とウニの深浅移殖放流についてのお尋ねでございます。</p> <p>種苗放流については，昨年度40万個，平成21年度につきましても40万個，既に実施をしております。</p> <p>種苗放流については，市の基本的な考えの増産増殖という考え方からマッチする事業ということで，今までやってきましたし，今後も引き続いていくものと考えておりますが，ウニの深浅移殖放流につきましては，基本的な考えとして，市の増殖増産という考えからすれば，深場から浅いところに移殖をする事業なんです，これにつきましては，既に深場でウニの身が入っているわけでそれを直接，深場から浅い所に移してということは，いかがなものかなという考えも一部にはございます。</p> <p>それで今までは，そういう形で実施をされてきたんですが平成21</p>

<p>佐藤室長</p>	<p>年度の予算の編成に当たっては、今後、段階的にこの部分の補助金については、見直しをしていく考えで、5%ほど補助金が減になっています。ただ、何年くらいで補助金を打ち止めするのかというのは、基本的には整理はされていませんがそういう動き、考え方があることは確かでございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>企画部としての立場からお答えをしたいと思います。</p> <p>椴法華それから恵山と戸井、南茅部を除いて主要魚種のベスト4、地域の現状等の8ページ下にもありましたとおり4番目の魚種、主要な魚種でございます。</p> <p>また、天然コンブと並んで多くの漁業者が採取する魚種でもございます。</p> <p>4地域は、漁業者が高齢化に向かっているとすれば大切な収入源であると理解しております。</p> <p>先ほど、産業建設課長さんの方から答弁がありましたとおり、深淺移殖については、資源増産とはちょっと目的が異質だという観点から数%減となっておりますが、市の財政状況を勘案しながら今後とも地域にとっては、大事な魚種であるというご意見があったことを関係部局にも伝えてまいりたいと思っております。</p>
<p>岡山弘一委員</p>	<p>何とか今までどおりお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。</p>
<p>木下議長</p>	<p>他ににございせんか</p>
<p>杉林委員</p>	<p>平成20年度、支所には各町内会から地域会館の補修要望が出されており、また、3月の地域審議会では、地域コミュニティや住民活動の活性化のため、支所長の裁量で使える予算100万円が付いたと聞いております。</p> <p>そこで支所長にお尋ねしますが、この予算を各地域会館の補修や町会連合会で実施している、花いっぱい運動などに使えないものかお聞きします</p>
<p>三輪支所長</p>	<p>各支所長ごとに裁量で使える100万円の地域コミュニティ推進費という形の予算付けがなされております。</p> <p>この予算は、地域の特性を活かしたまちづくりを進めるそれから、住民活動の活性化を図るなど地域コミュニティを進めていくために、住民要望に柔軟に答えられるように市長の裁量で予算付けがされたものでございます。</p> <p>杉林委員さんから要望がありましたとおり、コミュニティ活動の推進の中心母体であります町内会連合会から、花いっぱい運動で国道沿いに花壇を作ってやっていますが、ここにサツキの植樹をして欲しいと相談を受けております。</p> <p>それでこの予算の活用を町内会連合会長に了承をしている現状にあります。</p>

木下議長	<p>それから2～3の町内会から，平成20年度末の暴風雨がかなり強かったのですが，その影響から地域会館の雨漏れがひどくなってきている。是非，緊急に修繕をしてもらえないかという要望も受けておりますので，是非，この予算を活用して地域の住民が困らないように考えておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>よろしいですか。他にございませんか。 (特になし)</p>
(4)その他	<p>次に(4)その他 ですが事務局から何かありますか。</p> <p>山田主査 それでは，2点ほど報告事項がございます。 1点目については，緊急雇用創出事業および地域経済危機対策事業について，2点目については，椴法華中学校学校給食共同調理場建設工事について，各担当課より報告させていただきます。</p> <p>嶋村課長 それでは，産業建設課より6月に開催されました第2回市議会定例会におきまして，地域経済危機対策としての地域内に関連する事業予算，4項目の追加議決がございました。 7月24日開催された第4回市議会臨時会におきまして，緊急雇用創出対策としての地域内に関連する事業予算1項目が議決されておりますので，その内容について報告をさせていただきます。 まず，6月の定例会において追加議決されました内容として，ホテル恵風の施設改修ということで玄関前に通じる通路がございます。 その天井部の腐食がはげしくなっていることから，天井部を改修するもので，事業費は，8百万ほど予定してございます。 それから次に温泉給湯用ポンプ設置事業ですが現在，ホテル恵風には2本の井戸で温泉を供給しております。 そのうち，つつじ公園内にごございます5号井という温泉の深井戸水中ポンプですが，これが3年以上使用経過し，予備のポンプも無いことから新規に水中ポンプを交換設置するものでございます。 事業費は3,500千円ほど予定しております。 それから水無海浜温泉の改修で，休憩スペースの床の仕上げ材が一部，剥離をしており空洞が生じて危険が伴うことから，補修をするもので，事業費は1,500千円ほど予定しております。 それから4項目ですが交通安全施設整備事業ということで，市道から中学校のグラウンドに至る市道椴法華中学校線でございますが，主に歩道の改良をするものでございます。 事業費は，2千万円を予定してございます。 この交通安全施設整備事業につきましては，市役所の土木部が担当することになってございます。 これが6月に追加議決された内容です。 それから7月24日の臨時会において議決をされました1項目の内</p>

